

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年2月14日

上場会社名 M-インフォネット
 コード番号 4444 URL <https://www.e-infonet.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 岸本 誠
 (氏名) 日下部 拓也
 配当支払開始予定日 未定
 TEL 03-5221-7591

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	443	△8.0	△93	—	△100	—	△70	—
2019年3月期第3四半期	482	—	18	—	17	—	11	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△38.23	—
2019年3月期第3四半期	6.82	—

- (注) 1. 当社は2019年3月9日付で普通株式1株につき3.5株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。
 2. 2019年3月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、2019年3月期においては当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
 3. 2020年3月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	985	753	76.5
2019年3月期	699	412	58.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 753百万円 2019年3月期 412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	786	△6.9	4	△97.2	0	△100.0	0	△100.0	0.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2020年2月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	1,927,500 株	2019年3月期	1,627,500 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期3Q	— 株	2019年3月期	— 株
------------	-----	----------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	1,834,773 株	2019年3月期3Q	1,627,500 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、海外経済の堅調な回復を背景として、輸出・生産における増加基調が続き、堅調に改善を維持する企業収益、それに伴う雇用情勢及び所得環境の着実な改善と個人消費の持ち直し等、内外需要を背景に景気は緩やかな回復基調を維持したものの、先行きについては消費増税後の個人消費の反動減や米中貿易摩擦の長期化により減速傾向にある世界経済の不確実性から、不透明な状況が続いております。

当社の属する国内CMS市場においてはマーケティング・ツールとしてのWEBサイトの重要性が増してきていることや、WEBサイトの多言語対応やモバイル・スマートフォン対応を進める企業が増加していることを背景として国内CMS市場は堅調に推移しました。

このような事業環境の中、当社は自社開発のWEBサイトコンテンツ管理システム「i n f o CMS」を活用したWEBサイト構築および構築後のサーバー・システム運用保守などのアフターサポートまでを一貫したWEB受託開発・ASPサービスを主事業として、その他クラウドホスティングサービス、WEB広告サービス、WEBシステム開発サービス、カタログ・パンフレットデザインサービスなど、企業の広報マーケティング支援を目的とした事業展開を行っており、引き続き積極的な営業活動を推し進め市場シェアの獲得に注力してまいりました。さらに前第1四半期会計期間より構築WEBサイトのサービス領域の拡大と当社の事業領域の拡大を視野に周辺パッケージ商品として人工知能搭載型チャットボットシステム「Q&A i」の販売を開始し、WEBサイトに紐づく様々な課題解決の幅を広げております。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は443,697千円（前年同四半期比8.0%減）となり、営業損失93,350千円（前年同四半期は営業利益18,074千円）、経常損失100,095千円（前年同四半期は経常利益17,750千円）、四半期純損失70,151千円（前年同四半期は四半期純利益11,094千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は985,473千円となり、前事業年度末と比較して285,832千円の増加となりました。流動資産は820,573千円となり、前事業年度末と比較して253,404千円の増加となりました。これは現金及び預金が382,240千円増加したこと等によるものであります。固定資産は164,900千円となり、前事業年度末と比較して32,428千円の増加となりました。これは投資その他の資産が33,360千円増加したこと等によるものであります。流動負債は138,681千円となり、前事業年度末と比較して95,111千円の減少となりました。これは短期借入金36,200千円減少したこと等によるものであります。固定負債は93,374千円となり、前事業年度末と比較して39,856千円の増加となりました。これは長期借入金35,501千円増加したこと等によるものであります。純資産は753,418千円となり、前事業年度末と比較して341,088千円の増加となりました。これは有償一般募集増資に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ205,620千円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2019年6月25日付「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました2020年3月期の業績予想を修正いたしました。当該予想の詳細につきましては、本日（2020年2月14日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	272,149	654,389
受取手形及び売掛金	261,253	57,008
仕掛品	14,253	48,446
その他	19,512	60,728
流動資産合計	567,169	820,573
固定資産		
有形固定資産	69,998	69,598
無形固定資産	2,425	1,893
投資その他の資産	60,047	93,408
固定資産合計	132,471	164,900
資産合計	699,640	985,473
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,880	7,510
短期借入金	36,200	-
1年内返済予定の長期借入金	19,332	19,332
賞与引当金	21,335	11,364
受注損失引当金	4,925	2,352
その他	139,118	98,121
流動負債合計	233,792	138,681
固定負債		
長期借入金	27,391	62,892
退職給付引当金	22,212	24,635
役員退職慰労引当金	2,985	5,012
その他	929	834
固定負債合計	53,517	93,374
負債合計	287,310	232,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,000	258,620
資本剰余金	33,000	238,620
利益剰余金	326,330	256,178
株主資本合計	412,330	753,418
純資産合計	412,330	753,418
負債純資産合計	699,640	985,473

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	482,219	443,697
売上原価	250,872	265,121
売上総利益	231,346	178,575
販売費及び一般管理費	213,271	271,926
営業利益又は営業損失(△)	18,074	△93,350
営業外収益		
受取利息	1	2
その他	162	58
営業外収益合計	164	61
営業外費用		
支払利息	488	347
株式公開費用	-	6,443
その他	-	16
営業外費用合計	488	6,806
経常利益又は経常損失(△)	17,750	△100,095
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	17,750	△100,095
法人税等	6,656	△29,944
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,094	△70,151

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年6月25日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。上場にあたり、2019年6月24日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）により新株式300,000株を発行いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間において資本金及び資本準備金はそれぞれ205,620千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金258,620千円、資本剰余金238,620千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、見積実効税率に替えて法定実効税率を用いることとしております。